

1 子ども事業

No.	計画事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	夏のおはなし会	夏のおはなし会	対面	幼児、小学生向けのおはなし会。子どもが集中できるプログラムを考慮して「体を動かす」「じっと静かに聞く」「声を出す」「メロディーを聴く」を構成し、子どもの想像力や情緒を豊かに育てる。	ストーリーテリングサークル「おはなしのたまご」	①R7.7.31(木) ②R7.8.7(木)	①2歳～未就園児の親子 ②園児～小学生	①10組 ②15人	①親子5組 ②子ども19人	2歳～未就園児 (成果) 手遊び、昔あそび、からだあそびにより親子のスキンシップができた。親から子への読み聞かせのきっかけづくりの場となった。 園児～小学生 (成果) 本の世界の楽しさや奥深さに気づき、自主的に読書活動できるきっかけづくりとなった。 (課題) 「じっと静かに聴く」「体を動かす」「メロディーを聴く」「声を出す」という子どもが飽きずに集中できる構成に整える。
2	おもしろ理科実験	親子でおもしろ理科実験 ドライアイスであそぼう！	対面	身近な生活の中にある「理科」の実験教室。①実験結果の仮説を立てる②実験で検証するの2ステップの仮説実験授業で、能動的に学びを深める機会を提供する。	入澤真由美氏	R7.8.23(土)	小学校1年生～3年生とその保護者	10組	8組18人(子ども9人、大人9人)	(成果) ドライアイスの特性と取り扱い上の注意点を4つの実験とシャベット作りを通して学んだ。親子、参加者同士が交流、科学遊びをともに楽しむ様子が見られた。 (課題) 毎回満席となる実験講座なので、定員を増やすなどより多くの人が参加できるようにする。
2-2		親子でおもしろ理科実験 静電気であそぼう！	対面		入澤真由美氏	【選挙事務のため日程変更】R8.2.7(土) → R8.2.15(日)	小学校1年生～3年生とその保護者	12組	9組23人(子ども13人、大人10人)	(成果) 簡単に作れる検電器を紹介、家庭でも実験する方法を示し、学びを深めるきっかけを提供した。親子でともに一つの課題に取り組み、結果を共有、楽しんで実験をする様子が見られた。 (課題) 選挙事務に伴い収容人数の少ない会場で開催となり、定員を縮小して実施した。当日の気象条件、会場スペースの問題から予測通りの実験結果が出ず、静電気を利用して遊ぶプログラムに充てた時間を縮小せざるをえなかった。不測事態に備え、予備のプログラムを用意する必要がある。
3	プログラミング教室	親子でプログラミング教室 Scratch(スクラッチ)でおぼけ退治ゲーム！	対面	小学校で必修学科となったプログラミング。家庭でもプログラミングが身近なものとなるよう、親子で体験する機会を提供する。	大木伊都子氏	R7.8.9(土)	小学校3年生～6年生とその保護者	10組	6組12人(子ども6人、大人6人)	(成果) タブレット端末を使い、スクラッチでゲームをプログラミングした。数字・文字の入力を保護者がフォローするなど親子で協力して取組み、全員がオリジナルのおぼけキャラクターが登場するゲームを完成させた。公民館の講座に初めて参加する人が6人いた。 (課題) メール、LINE、COCOO配信で周知しても定員に達しなかった。5、6年生の参加がないので、今後低学年に向けた内容も検討したい。
3-2		子どもプログラミング教室 カーレースゲームをプログラミング！	対面		大木伊都子氏	R8.1.31(土)	小学生10人※3年生以下保護者同伴	10人	16人(子ども9人、大人7人)	(成果) カーレースゲームのプログラミングと、レーシングカーのデザインに取り組んだ。公民館の講座に初めて参加する人が約6割強あった。 (課題) ゲームを完成できたのは5割弱にとどまった。無理のない内容設定、一つのプログラミングに取り組み時間を増やす等、検討する必要がある。
4	ウニらんとんを作ろう！	ウニらんとんを作ろう！	対面	ウニから環境問題を学ぶ。ウニの殻等を利用して作品を完成させる達成感を味わってもらい、自分で考えて作ることで創造力を育てる。	NPO/パラギ海と自然の教室 亀山裕孝氏	R7.11.1(土)	小学生と保護者	10組(20人)	7組(11人)	(成果) ウニの生態・種類行動等、クイズを交えたのでわかりやすかった。ウニから環境問題を学び、環境問題にも興味をもってもらえた。 (課題) 広報、メール、LINE配信したが、定員に達しなかった。日程や広報状況を検討したい。

5	レッツ!トライ!ボランティア!!2025	レッツ!トライ!ボランティア!!2025	対面	小学校3年生から中学生を対象に福祉、平和、環境、防災等幅広い分野について学習する。その成果を福祉施設や公民館まつり等で発表し、地域社会に還元する社会体験事業。	湘北地区の青少年を育てる会	①R7. 5. 18(日) ②R7. 6. 15(日) ③R7. 7. 20(日) ④R7. 8. 24(日)、25(月) ⑤R7. 9. 21(日) ⑥R7. 10. 19(日) ⑦R7. 11. 16(日) ⑧R7. 12. 21(日) ⑨R8. 1. 18(日) ⑩R8. 2. 15(日) ⑪R8. 3. 15(日) A 公民館まつり B 公民館まつり C みんなのまつり D R7. 6. 29(日) 七夕飾りを作ろう	小学3年生～中学3年生	10人	(子ども実行委員/大人メンバー) ①9人/7人 ②7人/4人 ③8人/6人 ④8人/8人、9人/7人 ⑤6人/6人 ⑥7人/8人 ⑦9人/4人 ⑧8人/9人 ⑨9人/5人 ⑩6人/10人 ⑪ A B C D 8人/7人	
6	やぎさんふれあい広場	やぎさんふれあい広場	対面	やぎとのふれあい、餌やりを中心とするふれあい学習。身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりしようとする気持ちを育てる。	一般社団法人湘南やぎの里	①R7. 9. 28(日) ②R7. 11. 16(日)	3歳～12歳		①52人 ②36人	(成果) 日頃公民館を利用している小学生やファミリー層が数多く参加し、えさをあげたりやぎに触って、動物と触れ合うことができた。また、やぎは庭の草を食べることでエコな除草になった。 (課題) やぎは濡れた草を食べると体調を崩すので、前日・当日は晴れていないと開催できない。開催日の設定を考慮する必要がある。
7	青虫くん紙人形を作ろう	青虫くん紙人形を作ろう	対面	型紙を使い紙人形を作り、人形劇を演じる。物を作ることで集中力を高める。劇として楽しめむだけではなく、子どもの知識や想像力を育てる。	こっこ和田屋	R7. 7. 26(土)	3歳～小学生	8人	子ども10人 (大人7人)	(成果) 紙芝居で物語にひきこみ、絵本に登場する物を作り、自分が作った作品で紙人形劇をやったことで絵本に興味をもってもらった。図書館も利用していた。未就学もやる気を出し、楽しみながら挑戦していた。 (課題) 講座の時間を考慮する。
8	(仮称) 子ども麻雀教室	子ども健康麻雀	対面	頭脳スポーツとして人気が高まっている麻雀のルールを学び、実際に対局する。子どもたちの居場所を創出し、交流の輪を広げていく。	中山七恵氏 (麻桐会会員)	①R7. 9. 7(日) ②R7. 9. 13(土) ③R7. 9. 21(日) ④R7. 9. 27(土) ⑤R7. 10. 4(土)	小学4年生～6年生	8人	①4人 ②4人 ③4人 ④3人 ⑤4人	(成果) 少人数開催でほぼマンツーマンの丁寧な指導ができ、早い理解習得につながった。保護者が見学する中での開催となり、麻雀を通じて異世代間の交流が生まれた。 (課題) 複雑なルールの理解のため、定期的な継続開催が望ましい。
9	オープンスペース～七夕飾りを作ろう～	オープンスペース～七夕飾りを作ろう～	対面	公民館に寄贈いただいた笹に七夕飾りや短冊を作って飾りつけを行う。開催会場は出入り自由とし、事前に学んだ子どもたちが参加する子どもたちに教える形とする。	社会教育嘱託員 レッツトライボランティア参加の子どもたち	R7. 6. 29(日)	3歳～小学校6年生	20人	子ども10人	(成果) ・レッツトライボランティアの子どもたちが参加してくれた子どもにも、七夕飾りの作り方について先生となり、年齢の違う子どもと交流しながら作り上げた。 ・レッツトライボランティアという、ほかの主催事業と連携して事業を展開させた。 (課題) ・開催場所を1階にして、ロビーにきている子どもも参加できるようにする。

2 家庭教育支援関連事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	おちゃっぴ粘土教室	おちゃっぴ粘土教室 かわいい恐竜を作っちゃおう!	対面	カラフルで手にくっつきにくく、小さな子どもにも扱いやすい粘土を使って、オリジナル粘土キャラクターを作る。	おちゃっぴ (相川信也氏)	R7. 10. 5 (日)	3歳～小学生	20人	20人	(成果) 参加者全員が、初めて手にした粘土で作品に仕上げる事が出来た。講師が作るキャラクター見本通りではなく、子どもが自分の発想で自由にデザインした作品も多く見られた。 (課題) 今回のキャラクターデザインが少し難しいように見受けられた。保護者に手伝ってもらった場面も見受けられたので、もう少しだけ簡単にする。

2	親子贅沢味噌作り教室	※地域課題解決等事業へ移行	対面							
3	(仮称) ゆったりグラヴィティヨガ&親子のフリースペース (託児付き)	親子のほっとスペースつき！ ゆったりグラヴィティヨガ (託児付き)	対面	蓄積した疲労を解消し、健康増進を図る。運動が苦手な人も参加できるゆったりとした動きのエクササイズ。子育て中の方を対象に、託児つきとする。	黒田京子氏	R7. 7. 10(木) Ⓐ10:00~11:00 Ⓑ11:10~12:10	就学前の子どもを 育児中の方	Ⓐ5人 Ⓑ5人	Ⓐ5人 Ⓑ5人	(成果) グラヴィティヨガでは身体に負担をかけないストレッチの順番、効果的にほぐす方法、日常取り入れやすいワンポイント運動などを紹介。全員がリラックスできた、また参加したいと回答した。 (課題) 一方で親子のほっとスペースは利用者が少なかった。最終的に満席になったが希望者は多くない。子育て世代のニーズをリサーチする必要がある。
4	クリスマスリースを作ろう (託児付き)	※地域課題解決等事業へ移行	対面							
5	親子可愛い工作教室		対面	デザインの発想力や想像力を養い、脳を活性化しオリジナリティーをばぐくむ。もの作りの楽しさを体験する。						
6	かめさんのおうち	かめさんのおうち	対面	地域のつながりの希薄化や核家族化などの社会の生活変化が著しい。子育て仲間とお互いの子育ての不安や共感を得る機会も少ない中、年齢の近い子どもを持つ保護者同士の交流の機会を作る。	香川公民館保育ボランティア	①R7. 4. 16(水) ②R7. 5. 21(水) ③R7. 6. 18(水) ④R7. 7. 16(水) ⑤R7. 8. 20(水) ⑥R7. 9. 17(水) ⑦R7. 10. 15(水) ⑧R7. 11. 19(水) ⑨R7. 12. 17(水) ⑩R8. 1. 21(水) ⑪R8. 2. 18(水) ⑫R8. 3. 18(水)	0歳~就学前までの子どもとその保護者	40人	①19人 (大人9人、子ども10人) ②28人 (大人13人、子ども15人) ③10人 (大人5人、子ども5人) ④6人 (大人3人、子ども3人) ⑤22人 (大人10人、子ども12人) ⑥15人 (大人7人、子ども8人) ⑦10人 (大人5人、子ども5人) ⑧16人 (大人8人、子ども8人) ⑨14人 (大人7人、子ども7人) ⑩16人 (大人8人、子ども8人) ⑪12人 (大人5人、子ども7人) ⑫	
7	保育園のびのび広場		対面	保育園や幼稚園にまだ通っていない子どもを対象に、集団生活へのきっかけになる場を提供。保育士が年齢の近い子どもを持つ保護者同士の交流の機会を作る。	香川保育園、鶴が台保育園保育士	①R7. 5. 14(水) ②R7. 6. 11(水) ③R7. 7. 9(水) ④R7. 9. 10(水) ⑤R7. 10. 8(水) ⑥R7. 11. 12(水) ⑦R7. 12. 10(水) ⑧R8. 1. 14(水) ⑨R8. 2. 11(水)	乳幼児とその保護者		①17人 (大人8人、子ども9人) ②6人 (大人3人、子ども3人) ③13人 (大人6人、子ども7人) ④20人 (大人10人、子ども10人) ⑤中止 ⑥12人 (大人6人、子ども6人) ⑦20人 (大人10人、子ども10人) ⑧19人 (大人9人、子ども10人) ⑨中止	(成果) 運動会遊びや正月遊び、クリスマス制作など、一年を通して季節感や行事を意識した内容で開催し、親子のコミュニケーションを図ることができた。 (課題) 今年はインフルエンザの猛威や選挙もあって中止が重なった。予備日が設定できないか、課題としたい。
8	お金について考えてみよう	お金について考えてみよう	対面	買い物ごっこから、お金の価値や使い方を考える。お小遣い帳のつけ方も学ぶ。	藤沢友の会	R7. 11. 29(土)	小学生とその保護者	8組	7組 (大人7名、子ども7名)	(成果) 皆さんが使っているお金はどこからきて、どこへいくのか、投げかけ形式で子どもの意見が聞けて、おおよそ理解できていた。おこづかい帳のつけ方も教わり、つけるきっかけになった。 (課題) 定員にならなかつたので、告知方法や日程等検討したい。
9	折紙で恐竜を作ろう	折り紙で恐竜を作ろう	対面	チラシを再利用して恐竜を折る。工程が多い折り紙を完成させ、達成感を得るとともに身近な不用品を創造的に再利用する方法を学ぶ。	飯淵進氏	R7. 5. 17(土)	小学生以上で「鶴」を折ることができる人	15人	10組18人 (大人10人、子ども8人)	指導に時間を要し当初予定の3体のうち1体を折ることができなかった。複雑で難しい折紙だが楽しい、また参加したいと参加全員が回答した。公民館の講座にはじめて参加した方が6人あった。
9	みんなで楽しく親子リトミック&色々な打楽器であそぼう！		対面	リトミックを通じて子どもの表現力や想像力を向上するとともに音楽的感性を育成する。	京谷ひとみ氏	R7. 10. 17(金)	0~3歳の未就学児と保護者	15組	10組20人 (大人10人、子ども10人)	(成果) 家庭でほとんど触ることがない楽器に親しむことができ、保護者と一緒にリズム運動ができたのは、乳幼児期の成長を促すうえで良いきっかけとなった。 (課題) 講座の内容上、参加した保護者同士の交流にはいたらなかつたので、次回の課題としたい。

3 シニア事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	シニアのための保健体育	シニアのための保健体育	対面	高齢者の健康づくりと交流、高齢者支援リーダーの活躍の場。	佐藤節子氏 若林三枝子氏 佐藤みち子氏	①R7.5.13(火) ②R7.6.10(火) ③R7.7.8(火) ④R7.8.19(火) ⑤R7.9.9(火) ⑥R7.10.7(火) ⑦R7.11.11(火) ⑧R7.12.9(火) ⑨R8.1.20(火) ⑩R8.2.10(火) ⑪R8.3.10(火)	60歳以上	20人	①19人 ②14人 ③15人 ④13人 ⑤16人 ⑥16人 ⑦16人 ⑧14人 ⑨16人 ⑩17人 ⑪	
2	スマートフォン講座	わかる！シニアのためのスマホ講座 ①LINE ②セキュリティ、スマホ決済	対面	シニア世代のスマートフォンの使い方を支援する。	ソフトバンク㈱ スマホアドバイザー®	①R7.11.6(木) ②R7.11.13(木)	スマホ初心者 60歳以上優先	①10人 ②10人	①10人 ②12人	(成果) 講師とサポートの2人に公民館から担当1人が加わり、3人体制で受講者の質問にすぐに対応、受講者満足度の高い講座となった。①LINE準備編・応用編として、ともだち登録、トーク、スタンプの送り方を文字・音声入力のみかたをとともに学んだ。②総務省のガイドラインに沿った情報リテラシーを学び、スマホ決済[PayPay]をスマホを使って体験した。 (課題) スマホ初心者にとり「分からない」ことは多岐にわたっており、継続して開催する必要を感じた。
3	大人のためのエンジョイリズム体操	大人のためのエンジョイリズム体操	対面	子ども向けが多いリトミックの手法を大人向けにして、音楽に親しみながら、身体の活性化を図る。	京谷ひとみ氏	①R7.10.9(木) ②R7.11.7(金)	60歳以上	①20人 ②20人	①18人 ②13人	(成果) 参加者が楽しくリラックスし体を動かせた、普段触ることのない楽器に触れることができ貴重な体験ができた、という声がとても多く大きな成果だった。 (課題) 周知の方法を見直し満席を目指す。
4	昭和の思い出をたどる ～初めての記憶画体験～	～描き残したい昭和～ 大人の思い出絵日記を描こう	対面	記憶画について、まずは講師の作品をもとに参加者の経験談を交えながら交流を図り、実際に描いた作品を発表してもらう。	新見睦氏	講師作品展 R7.8.9(土)～9.13(土) 絵日記体験 R7.9.13(土)	一般	10人	6人	(成果) 講座前に行った作品展を見ながら、また講座に参加しながら交流する場面が一番印象に残った。 (課題) 「思い出絵日記」とはどういうものかについての説明に1時間をかけたので絵を完成できた人が少なかった。
51		【小和田公民館共催】 「古典文学講座 はじめての大鏡」	対面・ZOOM	平安時代後期に出現した「大鏡」を読み解くことで、歴史の世界から人間の営みの真実を学び、日本文学への親しみと理解を深める。	増淵勝一氏	①R7.5.14(水) ②R7.5.28(水) ③R7.6.11(水)	一般	20人	①9人 ②7人 ③7人	(成果) ・ZOOM会場を用意して講座を実施したが、各回映像や音声途切れることなく終えることができた。 ・参加者の満足度も高く、好評の講座となった。 (課題) 急遽実施することになったため、講座の周知が十分に行き届いていなかった。次回開催することがあれば、早い段階で動いていく。

4 博物館連携事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	(仮称) 博物館連携事業		対面	チリメンジャコの中に混入している、魚の稚魚や甲殻類、軟体類幼生を探しだし、樹脂標本にする。						

5 地域課題解決等事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	手づくり布ぞうり	夏に涼しい手づくり布ぞうり	対面	古い浴衣を使って布ぞうりを作る。 自分たちの学びを地域に還元できる事業方向とする。	ラ・トワール（布ぞうり講師団体）	R7.6.15(日)	小学5年生以上	15人	15人	(成果) ・学びの還元を目的に行っている、布ぞうりのフォローアップ講座から1名本講座に講師として参加していただけた、地域デビューの1歩となった。 ・参加者は作る喜び、使用する楽しさ、古布のリサイクルを知るの3点から満足度の高い講座となった。 (課題) 参加者が学びを地域に還元し講師として活動できるプロセスを確実にしていく。
2	かがわ健康ウォーク（春）	かがわ健康ウォーク 「茅ヶ崎別荘めぐり 小和田～団十郎別荘～菱沼海岸を歩く」 【連続講座】	対面	(春) ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	①講義 R7.5.28(水) ②ウォーク R7.5.29(木)	18歳以上	18人	①17人 ②15人	(成果) ・座学とウォークの2本立てにすることにより興味、関心をさらに増す学びとなった。 ・身近な運動として自ら歩くことを習慣化できるきっかけづくりとなった。 (課題) 終了時間をオーバーしたため、歩程時間を正確に計画し実行する。
3	かがわ健康ウォーク（秋）	かがわ健康ウォーク 「茅ヶ崎北部の歴史を訪ねる」 *事業カテゴリー「博物館関連事業」も兼ねる	対面	(秋) ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	R7.11.13(木) 延期日11.20(木)	18歳以上	18人	14人	(成果) 茅ヶ崎北部の自然や遺跡、歴史を知るウォークとなった。 博物館と連携し講座の幅を広げることができた。
4	かがわ健康ウォーク（番外編）	かがわ健康ウォーク（番外編） 「水彩スケッチ散歩」 【連続講座】	対面	(番外編 水彩スケッチ) ウォーキング番外編として、スケッチしながらウォークを楽しむ。同じ目的を持った仲間づくりの場とする。	小林幸信氏	①座学 R7.7.9(水) ②スケッチ R7.7.10(木)	18歳以上	12人	①9人（経験者は任意参加） ②11人	(成果) 楽しみながらスケッチポイントを探し自主的に歩くことができ、身近な運動として歩くことを習慣化させるきっかけづくりとなった。 (課題) 参加者同士の交流を図り、同じ目的を持った人と人を繋ぐ機会すること。
5	日本の年越し しめ飾りづくり	日本の年越し しめ飾りづくり	対面	年越し行事のしめ飾りづくりを体験し地域交流を図る。	森俊彦氏 小島賢造氏 南上弘志氏 田中京子氏 菅沼松江氏 加藤康之氏 片野順子	①準備 R7.12.13(土) ②しめ飾りづくり R7.12.14(日)	中学生以上	15人	①2人（任意参加） ②13人	(成果) 日本の稲わら伝統文化をより深く理解することができた。 (課題) 若い世代の参加が少ないことと講師の高齢化が課題である。
6	かがわサロン	香川サロン「陶芸体験～植木鉢」 【連続講座】	対面	スポーツ、健康、歴史、生活、食、経済、音楽、情報など多方面から時代に即したテーマを選び、地域の活性化を図る。	深草美栄子氏	①R7.4.5(土) ②R7.4.26(土)	18歳以上	12人	①12人 ②10人	(成果) ・参加者の半数が公民館講座の初参加であった。学習機会の提供の場であることの周知ができた。 ・陶芸のはじめの一步を学ぶことができた。 (課題) 本事業から仲間づくり、サークル結成に発展させる、地域の活性化を図る。
7	普通救命講習会	【共催】 普通救命講習会	対面	消防指導課と共催、救急車がくるまでの、救命処置、応急手当を身につけ生存率、社会復帰率を上げる。	消防指導課職員	R7.11.29(土)	中学生以上	15人	15人	(成果) 初期対応の重要性について学び、心肺蘇生法、AED操作等一連の救命処置実践力を上げるにつなげた。
8	夏休み学習室開放	夏休み学習室開放	対面	夏休み期間、空いている部屋を宿題や勉強の場として提供する。		R7.7.23(水)～ R7.8.31(日)	小学3年生～20歳	918人	58人	(成果) 鶴が台中学校職員室前の「地域情報掲示板」に本事業の案内を掲示してもらったことで、鶴が台中学校生徒の利用が大きく増加した。 (課題) ・多くの子どもはロビーを使って勉強しており、学習室の利用は同じ顔ぶれの児童・生徒になっている。 ・開放する部屋は職員が目が届かないため、少人数で女子と男子が利用する場合に何らかの対策が必要になる。

9	卓球開放	卓球開放	対面	小学生以上を対象に体力向上と仲間づくり。	社会教育嘱託員	①R7. 4. 11(金) ②R7. 5. 9(金) ③R7. 6. 13(金) ④R7. 7. 11(金) ⑤R7. 8. 8(金) ⑥R7. 9. 12(金) ⑦R7. 10. 10(金) ⑧R7. 11. 14(金) ⑨R7. 12. 12(金) ⑩R8. 1. 9(金) ⑪R8. 2. 13(金) ⑫R8. 3. 13(金)	小学生以上	15人	①13人(大人9人、小学生4人) ②13人(大人8人、小学生5人) ③14人(大人8人、小学生6人) ④15人(大人8人、小学生7人) ⑤19人(大人11人、小学生8人) ⑥18人(大人10人、小学生8人) ⑦16人(大人4人、小学生12人) ⑧9人(大人4人、小学生5人) ⑨12人(大人6人、小学生6人) ⑩8人(大人6人、小学生2人) ⑪13人(大人10人、小学生3人) ⑫	
10	庭木の剪定教室	庭木の剪定教室 ～我が家の庭から街づくり～	対面	庭木剪定の基礎的な技術を公民館の敷地内の庭木を題材に実地指導と並行して学ぶ。雨天日6/7	宍倉寛人氏	R7. 6. 7(土)	18歳以上	14人	11人	(成果) ・樹木の種類により剪定期や剪定の仕方もなかった。講義と剪定指導を受け、剪定をこなしながらコツを掴んでいき、有意義な講座となった。 ・ご自宅の剪定等の質問応答もあり、お悩みも解消されて参考になり勉強になった。 (課題) ・天候判断で雨天日に変更連絡の際、キャンセルが多かった。天気によって左右される講座なので参加の旨を理解してもらう。
11	パーソナルカラー講座	パーソナルカラー講座	対面	春夏秋冬のパーソナルカラーを学び、セルフチェックを行う。自分に似合う色を布を使い、グループワークで見つける。	有山豊美氏	R7. 8. 23(土)	18歳以上	10人	10人	(成果) 自分に似合う色を見つけられ、似合う色で出かけたという気持ちになったと全員回答があった。 (課題) カラー判定が難しい人が出てしまうのを講師と再検討する。
12	初めての己書講座	筆文字アート 己書で年賀状を書こう	対面	自書による手紙や年賀状を書くことが少なくなった。それによって自分の書く文字に自信が持てなくなり、さらにメールなどに頼ってしまうという状況を改善する。	大山郁香氏	R7. 11. 3(月・祝)	18歳以上	20人	20人	(成果) 昨年この講座からサークルが立ち上がったが、今年の講座を終えた参加者がこのサークルに加わることになった。 (課題) 己書というものがわかりやすく周知できていなかったため、次回は先生の作品を展示する。
13	一眼レフ初心者カメラレッスン	一眼レフ初心者カメラレッスン	対面	一眼レフやミラーレスカメラの軽量化が進み、誰でも気楽にカメラを手にすることが増えた。しかし、実際はカメラの複雑な機能や扱いがわからず、学ぶ機会も少ないため、その使い方を学ぶ。	社会教育嘱託員	①R7. 11. 28(金) ②R7. 12. 5(金) ③R7. 12. 12(金) ④R7. 12. 19(金)	一般	5人	①5人 ②4人 ③5人 ④4人	(成果) この講座に参加した方のうち2名が次のステップアップ講座である実践講座に応募があった。 (課題) 茅ヶ崎の紅葉スポットが毎回同じ場所になってしまっている。もっとほかの場所をピックアップし、市民に伝えていく。
14	一眼レフカメラ マニュアルモード実践講座	一眼レフカメラ マニュアルモード実践講座【1回目】	対面	一眼レフカメラレッスンなどで、マニュアルモードを学んだ方の次のステップとして、また、実際にマニュアルモードで撮影しているがうまく撮れない方向けに撮影会を中心とした実践編。ほかに写真のレタッチや講評会も行う。	社会教育嘱託員	①R7. 6. 20(金) ②R7. 6. 27(金) ③R7. 7. 4(金) ④R7. 7. 11(金)	一般	5人	①4人 ②5人 ③5人 ④3人	(成果) 昨年度開催した初心者レッスンのステップアップ講座として実施したが、アンケートでは大変勉強になったと好評を得た。 (課題) 今年は6月から気温が高く、体調不良者が出る心配もあった。来年度以降は実施時期を検討する。
14-2		一眼レフカメラ マニュアルモード実践講座【2回目】	対面		社会教育嘱託員	①R8. 3. 6(金) ②R8. 3. 13(金) ③R8. 3. 20(金) ④R8. 3. 27(金)	一般	5人	① ② ③ ④	
15	君がもっと強くなるトレーニング	【小和田公民館共催】 君がもっと強くなるトレーニング～やってみようマインドフルネス	ZOOM	公民館利用の機会が少ない中高生を対象に、学校生活でパフォーマンスを向上させるためセルフケアの方法を学ぶ。	林有加里氏(株式会社Melon)	1月10日(土)	中学生以上	40人	25人 ※審川会場・Zoom17人 小和田会場8人	(成果) 心身に悩みを抱える人に、メンタルヘルスを保つ方法を提案、参加者からは効果を実感する声を得られた。満席となったが、Zoom出席率が4割にも満たず、実績が25人にとどまった。 (課題) Zoom参加希望者が多く、締め切り後も問い合わせがあったため、Zoomの参加定員を増員する等検討する必要がある。中学生の参加が1名にとどまる結果となった。

16	駒寄川・小出川で冬鳥定点ウォッチング	小出川で冬鳥ウォッチング！	対面	香川公民館近隣の自然に親しむ。変化がわかりやすいテーマ「冬鳥の渡り」を取り上げ、自然観察から香川地域の環境にも目を向けるきっかけをつくる。	萩原洋平氏	①R7.10.18(土) ②R7.12.13(土) ③R8.1.24(土) ④R8.2.14(土)	小学生以上 ※小学4年生以下 保護者同伴	15人	①14人、保護者3人 ②10人、保護者1人 ③11人、保護者1人 ④5人(内午前のみ参加1人)	(成果) ・4回の定点観察により観察対象の変化を感じることで、より対象への興味が深まる内容となった。最終回の冬鳥地図づくりでは協力し合いながら一つの成果を共有し、継続開催を望む声も多く満足度の高い講座となった。 (課題) ・10月には土手の草丈が高く、特に小学生にとって川の鳥水の観察が困難だった。開催時期を草刈り後に設定する等検討する必要がある。最終回は参加者が少なかった。冬鳥地図づくりが参加者の負担になったことが考えられるため、全体の総括と、参加者同士の意見交換を主とする等プログラムを検討する。
17	身体を動かし認知症予防	身体を動かし認知症予防～いつまでも元気に今できること～	対面	地域包括支援センターの役割等を紹介。人生100年時代、運動と介護について学ぶ。	湘北地区地域包括支援センターあかね	R8.1.17(土)	一般	20人	20人	(成果) 認知症の病気や種類や症状を学び、家でもやれる運動も行い、日常やってもらえるようにした。 (課題) 認知症は誰でもなりうる病気なので、多くの人に知ってもらいたいので18歳から対象にしている。もっと地域の人が参加できるように告知等工夫したい
18	キムチを漬けよう！	本格キムチを漬けよう！ ※家庭教育支援関連事業から移行	対面	生活習慣を見直し、腸内環境のバランスを整えたいという人が増えている。発酵の力によって腸内環境を整える効果が期待できるキムチを手作りし、健康増進を図る。	李順蘭氏	R8.1.28(水)	18歳以上	12人	12人	(成果) キムチを使ったほかの韓国料理レシピや野菜の皮を天日干ししてお茶としていただく方法など、発酵食品を通じて体に良い食生活の提案を行えた。 (課題) 冬のキムチの漬け方のほかに、体調を崩しやすい夏に、発酵食品としてのキムチ作りを希望する声が多かったので検討したい。
19	発酵を学ぼう	～靴職人に学ぶ「発酵の世界」～旬のそら豆を使って豆板醤作り ※家庭教育支援関連事業から移行	対面	無理なく靴を生活に取り入れて、食を通した体づくりを促す。簡単にできる発酵調味料の作り方を学び、毎食事に取り入れることで腸内環境を整える。	熊澤弘之氏(靴店「米の花」店主)	R7.6.8(日)	18歳以上	16人	16人	(成果) ・旬のそら豆、靴、塩という少ない材料で発酵調味料としての豆板醤が作れるということを知ることができた。 ・多数の参加者が、講座後に早速このレシピで豆板醤を作ったという報告を受けた。 (課題) ・あという間に満席になってしまった。参加枠を増やすことができないか、検討したい。
20	段ボールでコンポスト【市民提案事業】	【共催】 段ボールでコンポスト	対面	ゴミの削減を目的に段ボールを使い生ごみをたい肥にするコンポストを作る。循環型ゴミの再利用を体験する。	横山孝視氏(C3大作戦)	R7.7.6(日)	一般	10組(人)	9組(13人)	(成果) 家庭ゴミの削減と循環型社会への取組の1歩となった。 (課題) 材料費の低減。
21	成年後見制度	知って安心!!成年後見制度	対面	認知症や障がいにより判断能力が不十分な方の権利擁護の手法の一つとして成年後見制度の理解を深める。	茅ヶ崎市成年後見支援センター職員	R7.12.5(金)	一般	30名	13人	(成果) 成年後見制度の概要や役割がわかった。判断能力が不十分な方を支える制度だとおおよそ理解した。 (課題) 定員も考慮し、PR方法も工夫したい。
22	靴職人に学ぶ 贅沢味噌作り講座	靴職人に学ぶ 贅沢味噌作り講座 ※家庭教育支援関連事業から移行	対面	通常の味噌作りより2倍量の靴を使って作る「贅沢味噌」は自然な甘さで大人も子どもも食べやすい。味噌作り初心者にはわからない保存の仕方や、保存中起こりうるカビがどうして発生するのか、その対処の仕方についても学ぶ。	熊澤弘之氏(靴店「米の花」店主)	R7.11.9(日)	18歳以上	16人	15人	(成果) 毎年親子が対象の講座であったが、今年は18歳以上としたことで、一般の参加者の要望をかなえることができた。 (課題) アンケートに、食育の観点から、親子を対象にしてほしいという要望も根強くあった。次回は別日を設けて、親子対象、一般対象を可能にしたい。
23	クリスマスワググレッスン	クリスマスワググ・レッスン ※家庭教育支援関連事業から移行	対面	子育て中の母親が公民館に集まる機会をつくることにより、孤独にならず、母親同士で交流できるようにする。また、リースの自然素材を扱うことで気持ちのリフレッシュ効果も見込める。	岩田朱理氏	R7.12.6(土)	18歳以上	16人	16人	(成果) なかなかスワッグ作りを学ぶ機会が少ないので、学ぶ良いきっかけになった。また、初心者でも完成しやすい作り方の工夫があり再現性も高かったため、自宅でもリトライしやすい内容だった。 (課題) 講師の教え方や工夫の仕方が役立つと、毎回申込者が多い。参加人数が増やせないか、検討したい。

24	おうちにあるもので「防災ごはん」	おうちにあるもので「防災ごはん」	対面	災害が起きた時の備えとして、実際に調理を行いながら、日頃から家庭でできるローリングストックの重要性を伝える。	愛川真白氏	R8. 2. 11(水・祝)	18歳以上	16人		(成果) 防災が特別なものではなく、日常の中で意識しながらできるという考え方を学んだ。また、ローリングストックという備蓄法を教わり、防災面だけでなく、忙しい子育て世代にも役立つ方法を学んだ。 (課題) 今回は備蓄しているもので主菜、副菜含め3種類を作った。すべて1人前作ったが、材料費がかさむので、次回からは材料費を抑え試食程度にできないか提案したい。
51		【5館・青少年会館・多様性社会推進課連携】 平和記念事業「集い・学び・繋がる折り鶴」	対面	戦後80年の平和記念事業として ・各館で折り鶴を募集し、千羽鶴を作成する。 ・平和への想いを短冊にしてもらい、各館展示する。		R7. 7. 19(土)～ R7. 8. 31(日)	一般			・公民館・青少年会館で5連(25羽綴り×10本×3束×5連=3,750羽使用)の折り鶴を作成。綴っていない鶴3,000羽と合わせていこりに提供した。 ・平和への想いの短冊を各館で掲示後、R7. 12. 15(月)～12. 19(金)の期間、市民ふれあいプラザでパネル展示した。

6 学習成果活用・学習情報提供事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	第35回公民館まつり	第35回香川公民館まつり	対面	公民館まつり実行委員会を中心にサークル活動の発表や展示、バザー、模擬店等を2日間にわたって開催する。		①R8. 2. 28(土) ②R8. 3. 1(日)				
2	夏休み自由広場	夏休み自由広場	対面	夏休み期間中に公民館利用サークルの活動を小・中学生が体験する。	26サークル	R7. 7. 20(日)～8. 26(火)	小・中学生	434人	218人	(成果) 昨年は参加サークルが16だったが、今年度は26サークルに増え、参加の選択肢が大幅に増えた。申込みもHPから入力する方法に変えたことで、現役世代の親にとっても申し込みやすくなり、子どもが自分で入力する学習にもなった。 (課題) 気軽に参加しやすくなった分、キャンセルも増えた。特に材料費のかかるサークルに対するキャンセルには、対策が必要。
3	(仮称)かがわ秋の音楽祭 【市民提案事業】	かがわ秋のミニ音楽祭 【市民提案事業】	対面	市民提案事業。各サークル等から参加の希望を募り、活動の発表の場とする。		R7. 10. 26(日)	公民館で音楽に関する活動しているサークル		34人	日頃公民館を利用している音楽サークルだけでなく、音楽とかがわりの深いダンスサークルや子ども向けフラサークルなどにも呼び掛け、多世代交流を図った。
4	講演会 そうだ香川公民館!!～こんなところは他にない～	講演会 そうだ香川公民館!!～こんなところは他にない～	対面	利用者懇談会「学習会」の取組として、公民館の理解を深める場を設定する。	小山博美氏	R7. 11. 30(日)	一般	50人	43人	公民館の歴史や在り方等を知り、おしゃべりタイムで意見交換、交流を図った。
31	主催事業情報「かがわ」発行			公民館主催事業のPR。					R7. 4. 1発行 第113号 R7. 7. 1発行 第114号 R7. 10. 1発行 第115号 R8. 1. 1発行 第116号	
32	公民館報「こもれび」発行			公民館からの情報発信。					休刊中	
51	(5館連携事業) 公民館ウィーク			市民に対して公民館の普及啓発活動。						選挙期間と重なってしまったため中止
52	(5館連携事業) 公民館フェスタ			市役所ふれあいプラザでのパネル展示・チラシ配架等を行う。						

7 公民館利用者活動支援事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	公民館利用者懇談会		対面	公民館の利用団体で組織される懇談会。活動内容でブロックに分かれ、ブロック代表である世話人会を中心にサークル体験、学習会、清掃活動、広報誌発行などを行う。						R7. 5. 20(火) 第73回全体会 R7. 11. 20(木) 第74回全体会 R7. 7. 20(土)～8. 26(火) 夏休み自由広場 R7. 11. 30(日) 学習会 R7. 12. 8(月) 全館清掃 R8. 2. 12(木)、2. 13(金) ブロック別懇談会
2	公民館利用者懇談会5館協議会		対面	5公民館の利用者代表による意見交換会。						R7. 7. 11(金) 第1回(小和田公民館) R8. 1. 30(金) 第2回(鶴嶺公民館)

8 次世代育成ネットワーク事業

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	小学生公民館見学	小学生公民館見学 (香川小学校3年生)	対面	近隣小学校の総合的学習の時間に協力し、子どもたちに公民館を知ってもらい利用促進につなげる。		R7. 6. 3(火)			教員4人 児童141人	小学校3年生4クラスが公民館と図書館分館の見学を行った。公民館については貸室を見て回るしかないため、ロビーでの説明に半分以上の時間を割いた。当日はまだ、昨年度の公民館まつりでのつるし飾りを飾ってあったが、3年生の作品であることを伝えたとこ、担任の先生も関心を示していた。先生方にも公民館について知っていただく機会となった。
2	職場体験の受け入れ	職場体験の受け入れ (鶴が台中学校2年生)	対面	近隣中学生に公民館の仕事について理解してもらう。		R7. 11. 19(水)			3人	(成果) 実際の公民館の仕事からサークル見学まで、幅広く知ってもらうことができた。 また、中学生の視点から公民館講座の立案、発表を行った。 (課題) 短い時間の中で、公民館全体の仕事を理解してもらうのは難しい。

9 公民館運営審議会等

No.	事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	公民館運営審議会		対面	館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。 (定例会：年2～3回、社会教育課主催研修会：年1～2回)		①R7. 8. 7(木) ②R8. 3. 27(金) ※R7. 12. 16資料郵送による情報提供			①7人 ②	
2	公民館運営審議会委員連絡協議会		対面	5公民館の審議会委員で構成する連絡協議会。		R8. 2. 5(木)			4人	鶴嶺公民館で開催
3	公民館長・公民館運営審議会委員等研修会		対面	県公民館連絡協議会主催の研修会に公運審委員が参加する。		R7. 10. 30(木)			2人	厚木市文化会館で開催